
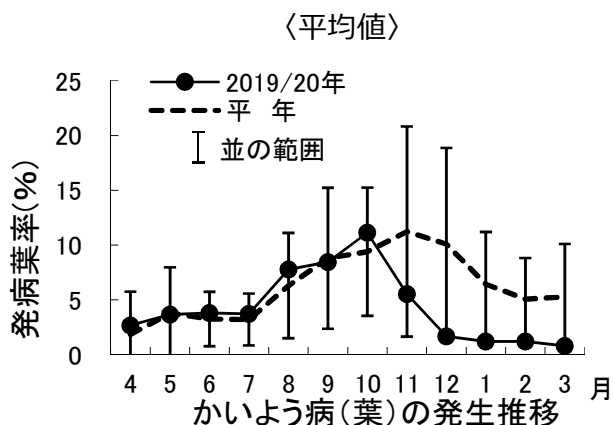
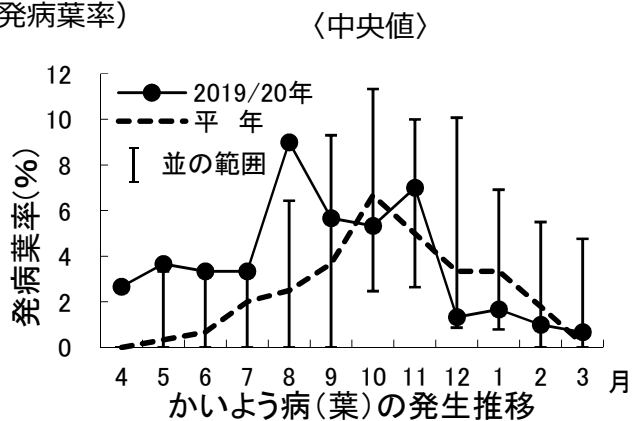


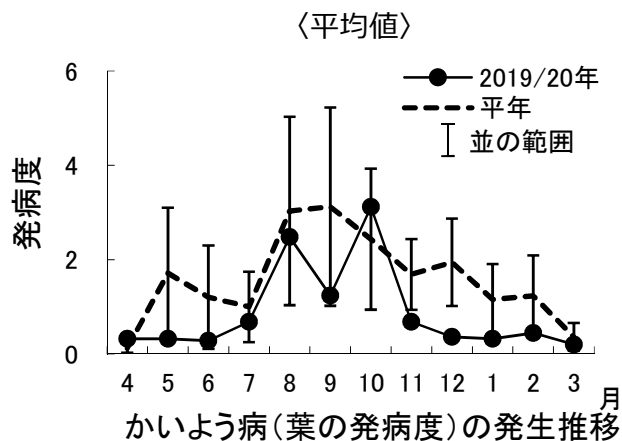
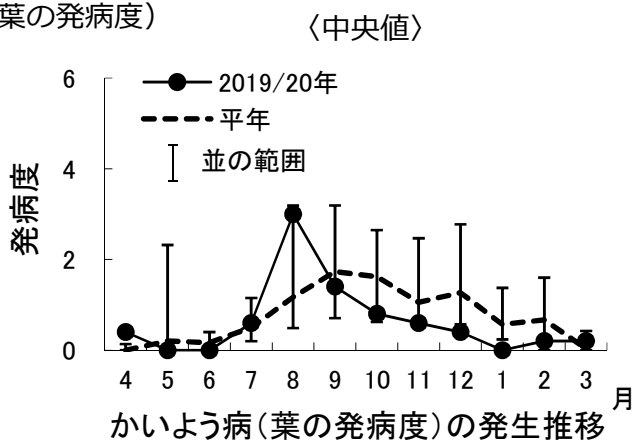
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
予報	4 月の発生量 (平年比)	並	
	3 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	3 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果

(発病葉率)



(葉の発病度)




防除のポイント

- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。

被害葉→



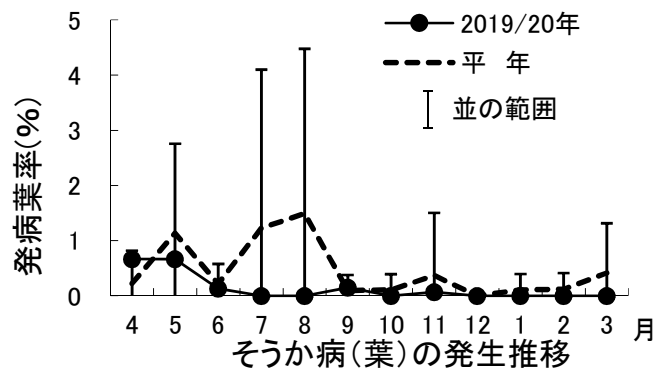
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
予報	4 月の発生量 (平年比)	並	
	3 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	3 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

(発病葉率)

〈中央値〉

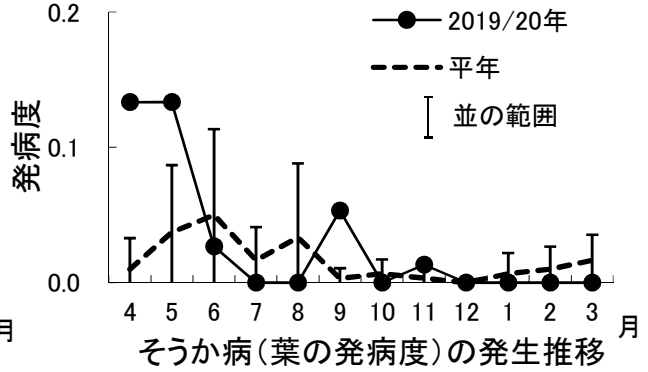
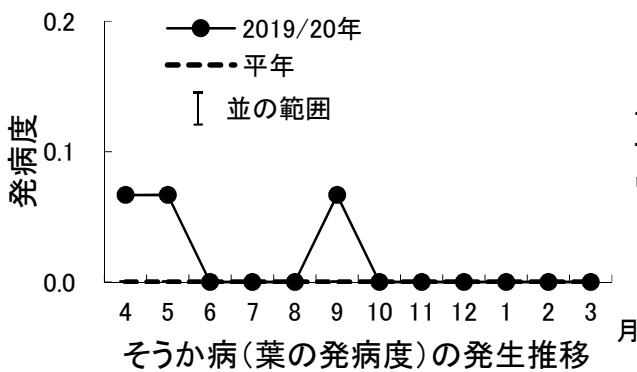
〈平均値〉



(葉の発病度)

〈中央値〉

〈平均値〉



防除のポイント

- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

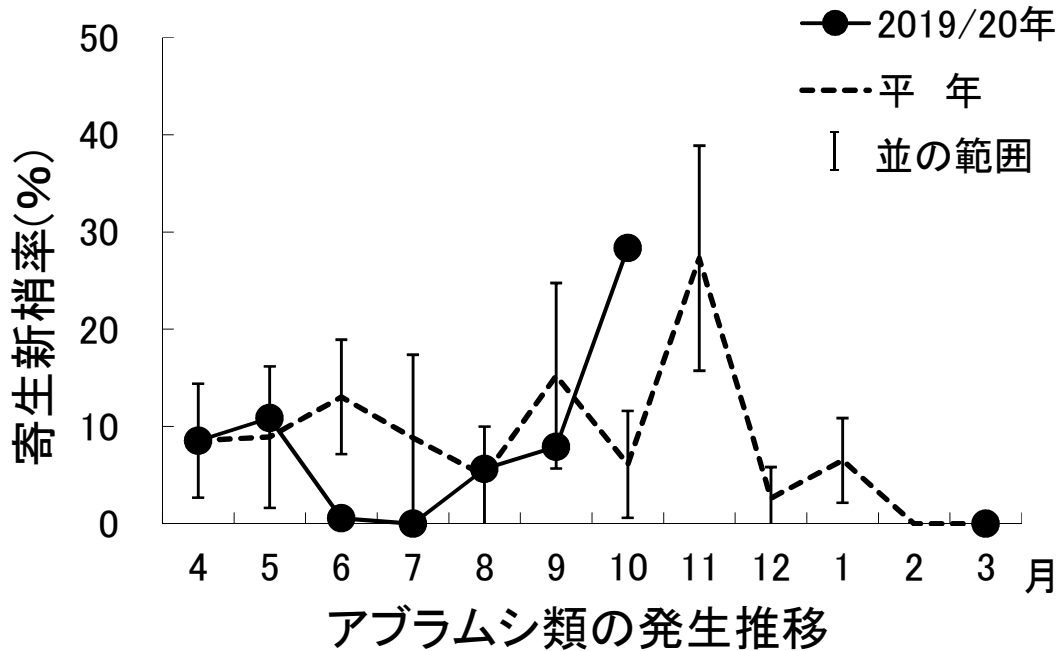
被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
予報	4 月の発生量（平年比）	並	
	3 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	3 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	新梢の発生量が増加するため	



調査結果




・ 発生ほ場率 : 0% (平年0%)

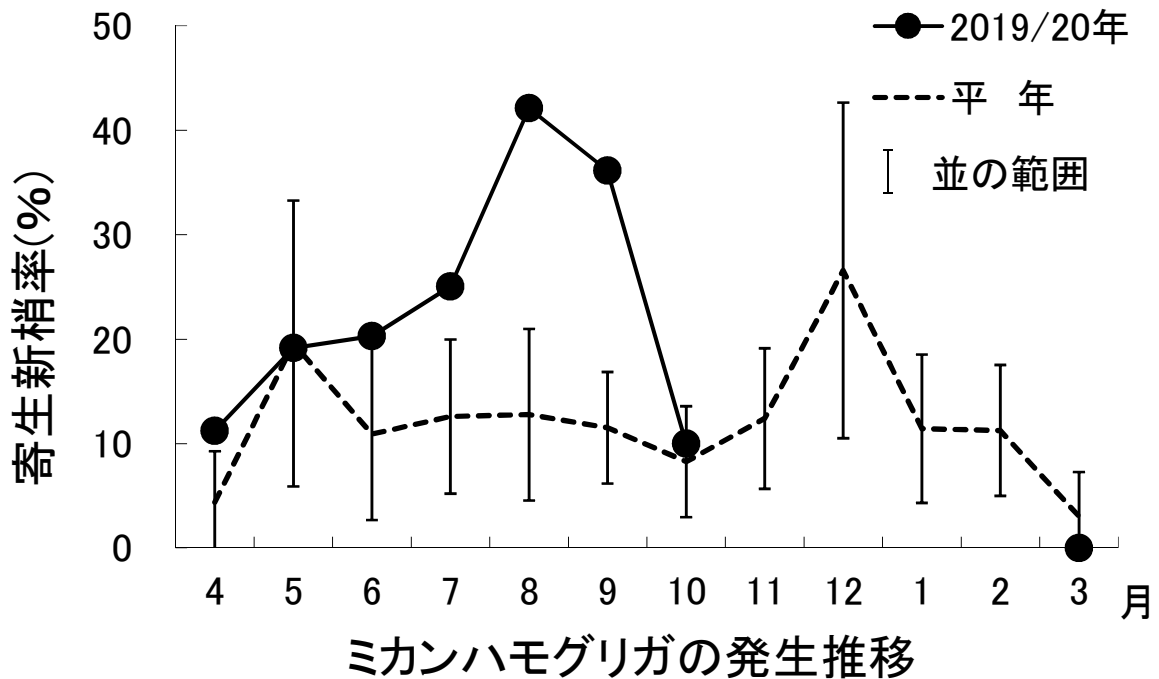
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	ミカンハモグリガ		
予報	4 月の発生量（平年比）	並	
	3 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	3 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	新梢の発生量が増加するため	


調査結果



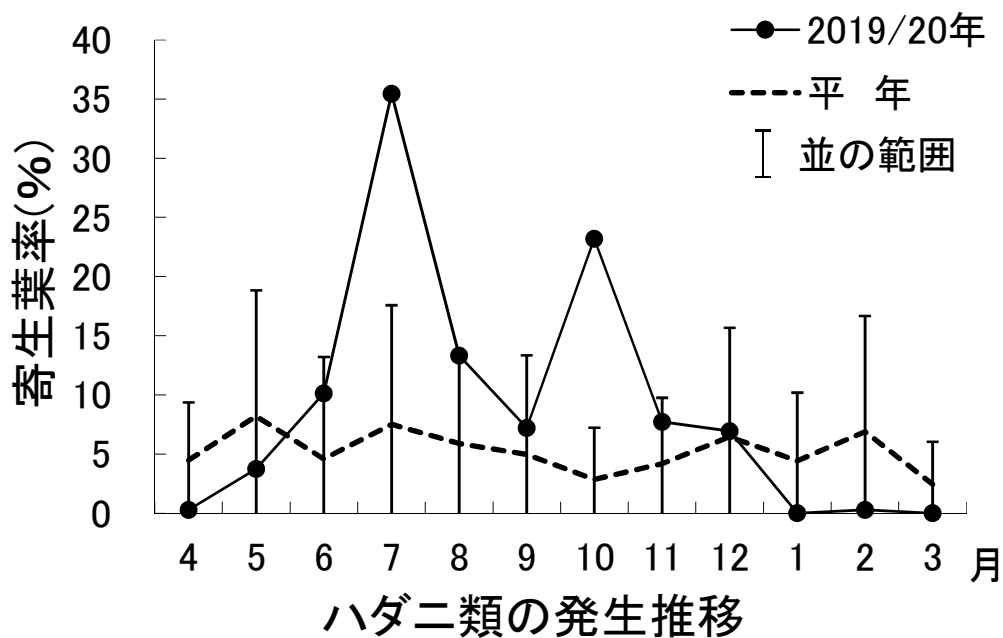
・ 発生ほ場率：0%（平年28%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
予報	4 月の発生量（平年比）	並	
	3 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	3 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

調査結果



・ 発生ほ場率：0%（平年28.6%）

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状